

## 第 1 回秋田県総合政策審議会（6/29）での提案事項について

令和 5 年 7 月 18 日  
観光文化スポーツ部

## 1 趣旨

第 1 回総合政策審議会において、豊田委員（国際教養大学中嶋記念図書館長・教授）から、カーボンニュートラルへの挑戦との関連において、地域公共交通の利用促進が重要な取組であるとの意見があったため、当部会においても御意見いただきたいもの。

## 2 意見内容と県の取組状況等

目指す姿 5：国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

## 施策の方向性③ 利便性の高い地域公共交通網の形成

## ◆地域公共交通の利用促進による温室効果ガスの削減効果

自家用車を各世帯で 1～2 台保持していることが当たり前の地方都市では、その割合は 8 割ぐらいにはなると思われる。そのため、戦略 3 に掲げる公共交通の利用促進というのは、カーボンニュートラルの挑戦との関係でも、非常に大きな意味のある取組である。

（豊田委員の意見要旨）

## 県での取組状況等、今後の進め方・考え方

- ・ 利便性の高い公共交通網の形成が利用促進につながり、ひいてはカーボンニュートラルの実現にも寄与することから、（路線の見直しによる）効率的な運行や（デジタル技術等による）サービス水準の向上に向け、交通事業者や国、市町村等と連携して取り組むこととしている。
- ・ 国では EV 車両など環境負荷の小さい車両や設備の導入に対する支援を行っており、県でも令和 4 年度補正予算※において、環境性能の高いユニバーサルタクシーの導入費用の一部を助成する事業を実施することにより、積極的な導入を働きかけている。

## ※参考（令和 4 年度補正）

○次世代タクシー導入促進事業費補助金

60,000 千円

環境性能が高く、高齢者や障害者にも利用しやすいユニバーサルデザインタクシー等の導入経費の一部を助成する。

- ・ 補助対象：タクシー事業者
- ・ 補助率：2/3（1 台当たり上限 2,000 千円）
- ・ 事業期間：令和 4 年 7 月～令和 6 年 2 月（予定）

